

・・・ライター、ガス缶、スプレー缶を捨てる時の注意・・・

ライター、ガス缶、スプレー缶などは必ず中身を使い切ってから捨ててください。中身が残っていると収集の際、圧縮されガスが漏れ金属の接触等により発生する火花が引火して、ゴミ収集車から出火することがあります。

第1木曜日の燃やせないごみの日に朝8時までに捨ててください。



【ライターのガスの抜き方】

- 1) 周囲に火の気がないことを確認する。
- 2) 操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。
- 3) 輪ゴムや粘着力の強いテープで、操作レバーを押し下げたまま固定する。
- 4) 「シュー」という音が聞こえれば、ガスが抜けている。(聞こえない場合は炎調整レバーをプラス方向にいっぱいに動かす)
- 5) この状態のまま、風通しがよく付近に火の気がない屋外に半日から1日放置する。
- 6) 確認のために着火操作をする。火が着かなければ、ガス抜き完了。

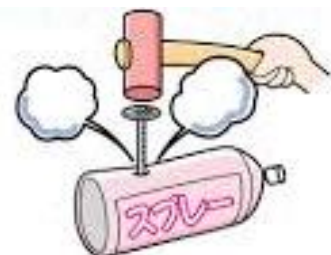


【ガス缶・スプレー缶のガスの抜き方】

- 1) 風通しのよい屋外で、周囲に火の気がないことを確認する。
 - 2) ボンベの先端（ノズル）を下に向け、少し斜めの角度で地面に押し付けて、ガスを噴出させる。
- ※最初は勢いよくガスが噴出します。
※気化熱によりボンベが冷たくなります。
※地面に液状のガスが付着することもあるが、すぐに気化するので心配はないです。
- 3) 残量にもよるが、噴出が止まるまでには1～3分程度かかる。「シュー」という音がしなくなればガス抜き完了。



★穴をあけて捨てることも可能です。ホームセンターでは、缶に穴をあける専用の器具もあります。



注意：カン、ビン、ペットボトルは、それぞれに分別してください。